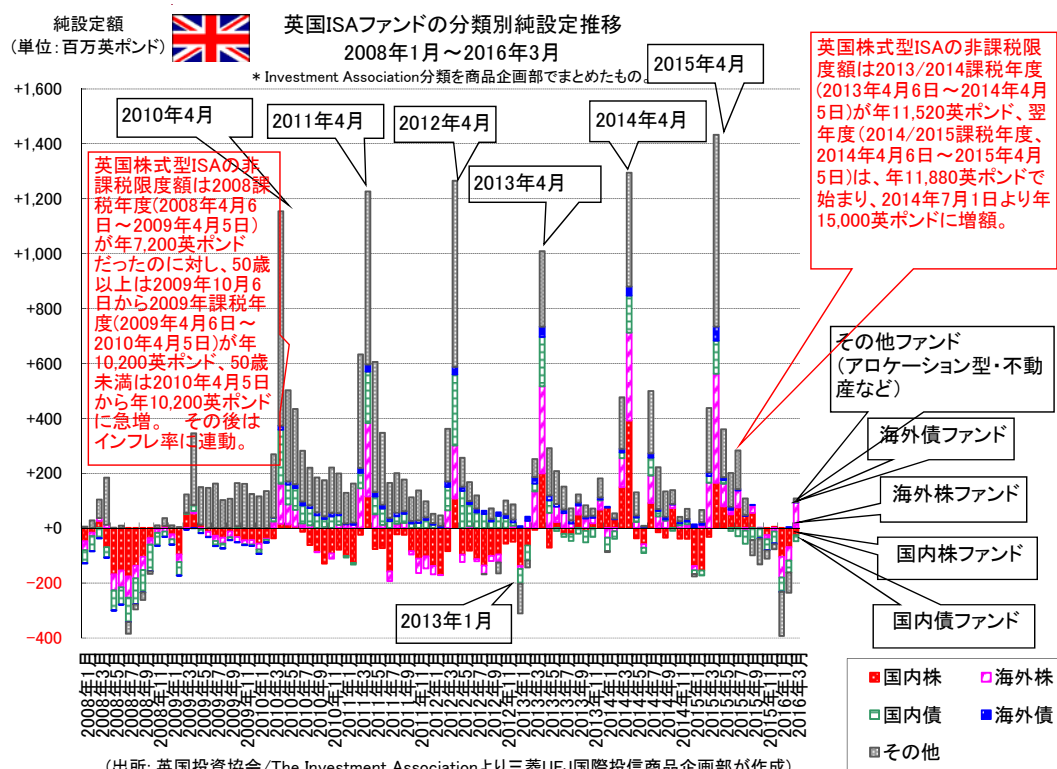


英国 EU 離脱(Brexit/ブレキジット)で大荒れ懸念もある中、英国のISA ファンドは？

2016年6月23日(木)に実施される英国の欧州連合/EU 離脱(Brexit/ブレキジット)の是非を問う国民投票まで1カ月となった(*Brexit/ブレキジット…英国/Britainと離脱/Exit からくる造語)。英国ではもちろん、米国、そして、日本でも大きな注目を集めている。5月12日付英ブルームバーグは「イングランド銀行(英中央銀行)は12日、成長率見通しを下方修正するとともに、欧州連合/EU 離脱(Brexit/ブレキジット)は英経済に打撃を与え、リセッション(景気後退)を引き起こしかねないと強く警告した。」と報じ、5月17日付日本証券新聞朝刊は「英国 EU 離脱で大荒れ懸念も」と報じていた(URLは後述[参考ホームページ]、米国は次頁の米ダウ・ジョーンズ記事を参照)。

英国 EU 離脱(Brexit/ブレキジット)懸念もあり、英国の代表的な株価指数である英 FTSE100 指数は昨年 2015 年 4 月 27 日の過去最高 7103.98 から 2016 年 2 月 11 日に 5536.97 と 2012 年 7 月 25 日以来の安値を付けた。直近では、EU 離脱の支持が後退している事を受けて株式も反発気味である。この中、日本の NISA(少額投資非課税制度)が範としている英 ISA ファンドはどうなっているか。今回は最新の英国の ISA ファンド動向を見る。

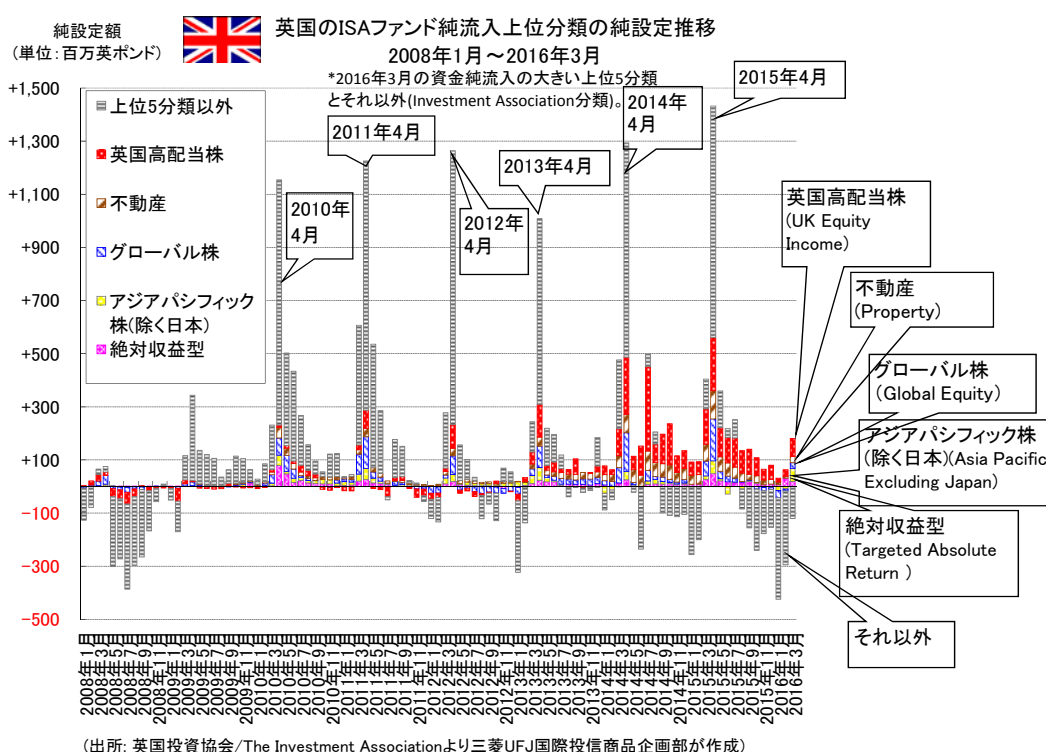
2016年4月25日に英国投資協会/The Investment Association/IA が最新 2016年3月の英国投信概況を発表した。それによると、個人投資家向け英国籍投信の純設定は+3億7900万英ポンド(約613億円)と3カ月ぶりの純流入。このうちISAファンドは、2015年9月～2016年2月に6カ月連続の純流出だったが、3月は+5946万英ポンド(約96億円)と7カ月ぶりの純流入となった(URLは後述[参考ホームページ])。



3月の英国ISAファンドは、英国高配当株や不動産への継続的な人気に加え、絶対収益型が今年になり人気化!

英国ISAファンドで最近の人気はどのようなファンドか。純設定を分類別にみると、前頁グラフの示す通り、2016年は海外株ファンドが大きく純流入となる一方、英国株ファンドは純流出が続いている。5月18日付米ダウ・ジョーンズは「ファンドマネジャーを対象にアンケート調査を行ったところ、英国が欧州連合(EU)から離脱する可能性こそが現時点で最大のテールリスク(可能性は低いが起きれば大きな影響を生じる危険性)と受け止められている。…(略)…。英国の株式への資産配分は2008年11月以来の低水準となっている。」(URLは後述[参考ホームページ])と報じていた様な展開である。

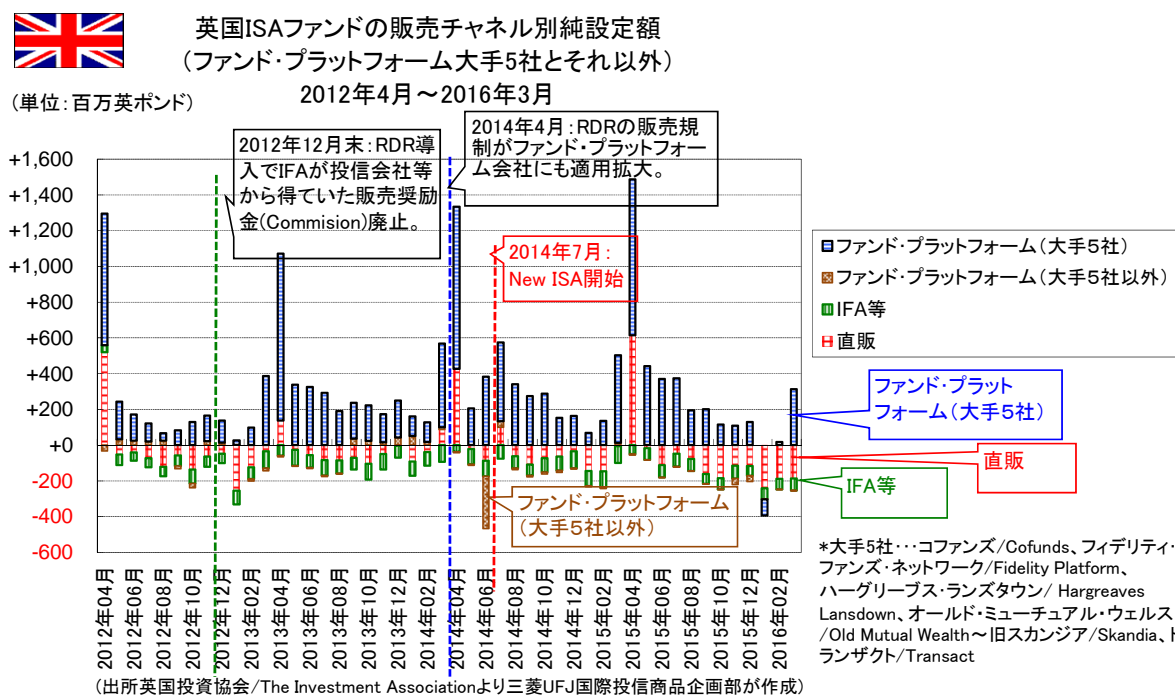
分類をより詳細にみると、2016年3月の最も人気は、前月に続き「英国高配当株(UK Equity Income)」、次いで「アジアパシフィック株除く日本(Asia Pacific Excluding Japan)」、「不動産(Property)」、「グローバル株(Global)」、「絶対収益型(Targeted Absolute Return)」だった。「英国高配当株」は高配当株に純資産の80%以上を投資するファンドだが、2013年頃から安定的に純流入が続いており、2014年以降は最も純流入が大きくなっている。「不動産」はこの「英国高配当株」と同様に2014年頃から純流入が継続的である。「絶対収益型」は2016年に純流入が増えてきており、年初来(2016年1~3月)では「英国高配当株」に次ぐ大きさである。一方、英国の国内株ファンド全体は純流出と先述したが、主にこれはISAファンドで残高最大(21.8%~2016年3月末時点)の「英国株(UK All Companies)」による。「英国株」は、成長株に純資産の80%以上を投資するファンドだが、2014年5月以降、連続の純流出で、純流出額も最大である(下記グラフでは「それ以外」に含まれる)。



4月についてはISAファンドの月間値は5月末に公表される予定だが、投信全体とISAファンドはいずれも3月に純流入へ転じており、4月もこの流れが継続する可能性がある。それは例年3月頃からはISAシーズンとも呼ばれ課税年度末および年度初めを迎える4月にかけて純流入が年間で最も多くなる季節性がある事、既に公表されている課税年度末の最終週(4月1日~5日)の動向をみると、ISAファンドの純設定額は+1億7700万英ポンド(約280億円)と、前年同期間(+1億7100万英ポンド)とほぼ同水準となっている事から推察されるものである。

英国では RDR によりプラットフォーム会社間の競争と寡占化が今後も進む

ISA ファンドの純設定を販売チャネルで見る。下記グラフは、英国 ISA ファンドの販売チャネル別の純設定額で、純設定額をファンド・プラットフォーム会社(*またはプラットフォーム会社とも言う～後述※4 参照)については、大手 5 社とそれ以外とに分けて見る(大手 5 社の 2014 年の年間販売額はファンド・プラットフォーム会社全体の販売額の 72%を占める～英国投資協会)。



ISA ファンドの販売においては、ファンド・プラットフォーム会社(大手 5 社)の純流入ばかりが目立ち、IFA 等や投信会社の直販は純流出が続く。2014 年 4 月にファンド・プラットフォーム会社の手数料について、より開示を求める新しい規制「RDR」(後述※1 参照)が施行、サービス及び料金体系が見直され、投資需要を取り込むキャンペーンなど、販売サービス提供者間で競争が繰り広げられた。その動きの中で、投資家はサービス内容を比較検討、より有利なファンド・プラットフォーム会社を選択する動きが出た様である。実際、ISA ファンドの 2015 年の年間販売額のうち約 7 割(73%)がファンド・プラットフォーム会社によるものだった。

また近年、投信(資産運用)会社が ISA 事業をやめて、既存顧客の ISA 資産をファンド・プラットフォーム会社へ移管する動きも出ている。2016 年 4 月 21 日付インベストメントウィーク誌によると、「(投信会社の)レグメインが同社の ISA を閉鎖し、顧客 7000 人(資産計 6500 万英ポンド/約 100 億円)に対して英国最大の株式型 ISA プロバイダーであるハーグリーブス・ランズタウンのファンド・プラットフォーム『バンテージサービス』への移管を無料で行うと発表した。ハーグリーブス・ランズタウンは昨年 2015 年にも JP モルガンアセットマネジメントから預金型 ISA を含む 3 億 7000 万英ポンド(約 600 億円)の資産を取得することに同意している。」と報じていた(和訳及び円換算は筆者、URL は後述[参考ホームページ])。ISA 移管については 2014 年 10 月 27 日付本版 ISA その 77 参照(URL は後述[参考ホームページ])。

こうした資産移管もあり、英ファンド・プラットフォーム会社の預かり資産(Assets Under Administration)は、2016 年 3 月末時点で 4150 億英ポンド(約 67 兆円)に達し、前四半期比+3%と増加している(英投信調査会社のファンドスケープ社～URL は後述[参考ホームページ])。

参考までに、業界 1 位は、コファンズ/Cofunds(800 億英ポンド/約 13 兆円)、2 位はフィデリティ・ファンズ・ネットワーク/Fidelity Platform(627 億英ポンド/約 10 兆円)、3 位ハーグリーブス・ランズタウン/ Hargreaves Lansdown(600 億英ポンド/約 9.7 兆円)で、この 3 社で全体の約半数を占めるという

英ファンド・プラットフォーム会社の預かり資産トップ4
2016年3月末

順位	会社名	資産 (Assets)	
		億英ポンド	兆円
1	コファンズ/Cofunds	800	13
2	フィデリティ・ファンズ・ネットワーク/Fidelity Platform	627	10
3	ハーグリーブス・ランズタウン / Hargreaves Lansdown	600	10
4	オールド・ミュチュアル /Old Mutual	366	6

英ファンド・プラットフォーム会社の資金純流入トップ4
2016年1-3月

順位	会社名	資金純流入 (NET SALES)	
		億英ポンド	億円
1	ハーグリーブス・ランズタウン / Hargreaves Lansdown	+12	+1,940
2	スタンダードライフ /Standard Life	+11	+1,778
3	エイゴン/Aegon	+9	+1,455
4	アビバ/Aviva	+8	+1,293

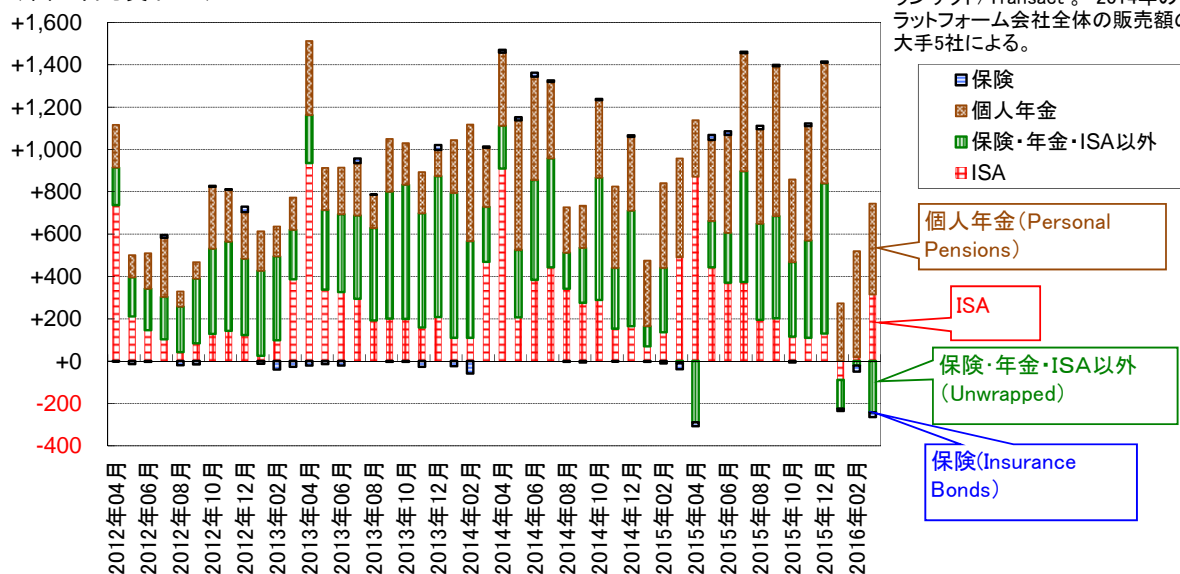
(出所: 英ファンドスケープ社より三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成。一部推計含む。)

一方、ファンド・プラットフォーム会社間の競争は激しくなっている。ファンド・プラットフォーム会社が提供する商品全体の販売額から解約額をひいた純設定(Net Sales/資金純流入)でみると、2016年1-3月期の1位こそ業界3位のハーグリーブス・ランズタウン(+12億英ポンド/約1940億円)だが、2位からは大手以外である。2位スタンダードライフ/Standard Life(+11億英ポンド/約1778億円)、3位エイゴン/Aegon(+9億英ポンド/約1455億円)、4位アビバ/Aviva(+8億英ポンド/約1293億円)となっている。



英大手ファンド・プラットフォームにおける商品別投信純設定額
2012年4月～2016年3月

*投信…英国籍オープンエンド型投信でインベストラストとETFは含まない。
(単位:百万英ポンド) (純設定額は大手5社*の合計。)



*大手5社…コファンズ/Cofunds、フィデリティ・ファンズ・ネットワーク/Fidelity Platform、ハーグリーブス・ランズタウン/ Hargreaves Lansdown、オールド・ミュチュアル・ウェルス/Old Mutual Wealth～旧スカンジヤ/Skandia、トランザクト/Transact。2014年のファンド・プラットフォーム会社全体の販売額の72%がこの大手5社による。

(出所英国投資協会/The Investment Associationより三菱UFJ国際投信商品企画部が作成)

2位のスタンダードライフ社は、今年5月4日にフランス保険会社大手アクサの英国法人から、ラッププラットフォーム事業「Elevate」を買収、統合し、新しく15万人の顧客とその資産計98億英ポンド(約1.6兆円)が加わり、顧客数35万人、預かり資産は364億英ポンド(約5.9兆円)になると発表した(2016年3月末時点)。3位エイゴンは2016年3月3日、ブラックロックから英国のDCプラットフォーム事業買収を公表、4位アビバは2015年に英保険会社フレンズ・ライフを買収した(各社のプレスリリース URL は後述[参考ホームページ])。

2016年5月19日付英FTは、「ハーグリーブス・ランズタウンへの資金フローが2016年4月に+23億英ポンドと前年同月の+27.5億英ポンドから鈍化した。」と報じていた。2016年のISAや保険などへの投資は、英国のEU離脱への懸念もあり今のところ低調だが(SIPPs/Self Invested Personal Pensions など個人年金を除き)、英ファンド・プラットフォーム会社間の競争と寡占化が進むなかで今後の動向が注目される。

※1: RDR…Retail Distribution Review/個人向け金融商品販売制度改革の事。IFAが投信会社等から得ていたアドバイス・フィーを受け取れなくし、投資家から別枠で得るアドバイス・フィーだけにしたり、IFAに高い知識レベルの維持の要求をしたりする改革である。2014年4月からはファンド・プラットフォーム(Fund Platforms、下記*4参照)にも適用された。詳細は2013年7月22日付日本版ISAの道その21参照(URLは後述[参考ホームページ])。

※2: トレール・コミッション…Trail Commissionの事。投信会社からIFAやファンド・プラットフォームに対し、投信のアドバイス等の対価として支払われるアドバイス・フィーである。日本の投信の運用管理費用/信託報酬の販売会社分(代行手数料)に相当。

※3: IFA…Independent Financial Advisers/独立金融アドバイザーの事。

※4: ファンド・プラットフォーム…Fund Platformsの事で、投信スーパーマーケットとも言えるもの。主にネットを通じISAファンドやSIPPs(Self-invested Personal Pensions)など個人年金などを提供している証券会社。IFAがファンド・プラットフォームのサービスを活用して投資家に投信等を提供する事もある(*IFAの受けるサービスとは投信等の選択ツール、IFAへの講習、投資家からのIFAのフィー徴収等)。

※5: クリーン・ファンド/シェアクラス…RDR導入でIFAやファンド・プラットフォームがトレール・コミッションを受け取るのが難しくなったことに対応して、投信会社が「クリーン・ファンド/シェアクラス」と呼ばれるものを設定した。「スーパー・クリーン・ファンド/シェアクラス」は、クリーン・ファンド/シェアクラスより、投信会社の受け取るフィー(Annual Management Charge/AMC)を低減したもので、スタンダードライフ社は「スーパー・クリーン・ファンド/シェアクラス」を早くから提供した会社でもある。投信フィーに関して詳細は2014年12月14日付日本版ISAの道その124参照(URLは後述[参考ホームページ])。

以 上

[参考ホームページ]

2016年5月12日付英ブルームバーグ「英中銀:『Brexit』強く警告、リセッションあり得るー利下げ可能」…

「<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2016-05-12/O729U06TTDS501>」、2016年5月17日付日本証券新聞朝刊「英国EU離脱で大荒れ懸念も」…「[http://www.shimbun-](http://www.shimbun-online.com/product/nsjihonshokenshimbun0160516.html)

[online.com/product/nsjihonshokenshimbun0160516.html](http://www.shimbun-online.com/product/nsjihonshokenshimbun0160516.html)」、2016年5月18日付米ダウ・ジョーンズ「英中銀:

『Brexit』強く警告、リセッションあり得るー利下げ可能」…「<http://www.dowjones.co.jp/>」、英国投資協会/IA…

「<http://www.theinvestmentassociation.org/>」、2014年10月27日付本版ISAその77「NISA本家の英国ではプラットフォーム会社中心にD2C、オンライン化、ISA移管、寡占化が進んでいる～英国ISAファンドの最新販売チャネル・規制動向～」…「<https://www.am.mufg.jp/text/141027.pdf>」、

2016年4月21日付インベストメントウィーク誌「Legg Mason offers free transfers to Hargreaves after shutting ISAs」…「<http://www.investmentweek.co.uk/investment-week/news/2455524/legg-mason-offers-free-transfers-to-hargreaves-after-shutting-isas>」

2016年5月10日付英ファンドスケープ社のプラットフォーム四半期レポート(*調査対象のファンド・プラットフォーム19社はファンド・プラットフォーム全体の98%を占める)…「<http://fundscape.co.uk/press-centre/rockstarttoyearforplatformsq116/>」

スタンダードライフ社 2016年5月4日付プレスリリース…「<http://www.standardlife.com/sites/dotcom/news-and-publications/2016/announcement.page>」

英エイゴン社 2016年3月3日付プレスリリース…「<http://www.aegon.com/en/Home/Investors/News-releases/2016/Blackrock/>」、2016年5月19日付英FT「Hargreaves Lansdown's inflows dip on Brexit fears」…「<http://www.ft.com/intl/cms/s/0/d4cc2b1a-1db4-11e6-a7bc-ee846770ec15.html#axzz49B9dv3aD>」。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡する最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。